

先日、とあるドラマで、可愛らしい様子を表す「いとおしげ」という言葉が新潟の方言なのだと知った。新潟出身の私は幼い頃からよく耳にした言葉だったので少し驚いた。私はいわゆる転勤族で、さまざまな地域の方言に親しんできた。名古屋では先の尖ったものを「とっきんとっきん」と言い、その表現力に土地の人たちのユーモアを感じた。仙台では、少し違和感のある気持ちを表す「いずい」という言葉に出会い、標準語では言い表しにくい感覚を見事に言い当てていると感心した。

現在、福沢市民センターの読み聞かせボランティアに参加している。人々との触れ合いを通して、物語の言葉とはまた違う、その土地の日々の言葉に出会うことがある。そんな瞬間に、私は新しい土地と少しずつ仲良くなれているのだと感じ、嬉しくなる。

講座報告



【つながる Café ～宮町編～③】(8/6) 宮町界隈・夏の夕涼みさんぽ

第3回目は、宮町商店街振興組合監事の佐藤広行氏に宮町周辺をご案内いただきました。今年から東照宮の参道に地域の方々が心を込めて作った「みんなで作る七夕飾り」が飾られ、それを眺めながら七夕まつりの説明をしていただきました。また、宮町通り沿いのお店にも立ち寄り、商店街の歴史などをお話いただき地域を歩きました。まち歩きで立ち寄ったお店では、試飲や試食の提供もあり、参加した方々からは「新たな発見もあり地域の商店街をもっと利用したい」「店主の方と交流できたのが良かった」などの感想をいただきとても楽しい時間を過ごしました。

商店街を知るきっかけにもなったようです。



<体育館の個人使用日／10月>

■種 目：卓球（2面）・バドミントン（2面）

■使用日：17日（土曜日）

※3日・10日・24日・31日は主催講座等のため使用できません

■使用料：一般 240円／小中学生 120円

■時 間：9：00～17：00（1回の申込につき2時間まで）

※8：45時点で、各種目3組以上お集まりの場合は、抽選になります。それ以降は先着順です。

※上記種目以外は使用できません。

※シューズ、用具はご持参ください。

【歴史講座 宮町界隈いま・むかし③】(8/19)

今回は、「御宮町界隈の見所」と題して、講師の千葉富士男氏からお話していただきました。宮町界隈には、仙台東照宮・仙岳院など、古刹、名刹と言われる神社・仏閣も多く、北六小の向かい側にある万日堂(清浄光院)には尊皇攘夷運動に身を投じた「星忖太郎の墓」や「仙台睦の墓」と言われている仙台遊郭の遊女の総墓があることを教えていただきました。また、「松尾芭蕉と河合曾良」が北野屋加右衛門に案内されて歩いた道についてや「大淀三千風と松尾芭蕉」の関係性についても詳しくお話していただきました。参加された受講生からも「芭蕉が歩いたかも知れない道を毎日のように歩いていると思うと楽しい！」といった感想もありました。



ホッとひと息カフェ <毎月第3金曜日開催>

- ・日 時：10月16日(金) 13:30～15:00
- ・場 所：福沢市民センター3階・第2会議室
- ・申込み：不要 直接会場へ

★認知症が心配な方やそのご家族、認知症に関心のある方々が自由に集い、悩みを共有し、工夫や知恵等を学び合う会です。

【問い合わせ先】花京院地域包括支援センター 022-716-5390

<図書室の利用について>

- おひとり3冊まで、2週間借りることができます。
- 図書ボランティアさんの活動日以外の貸出、返却は職員にお声がけください。
(休館日を除く、9：00～17：00)
- 福沢市民センター図書室の「本」をお手元にお持ちの方は速やかに返却をお願いします。

図書ボランティア「カンナの会」活動日

毎週 水曜日 10：30～12：30／13：00～15：30
第1・第3土曜日 13：00～15：30

10月の休館日

5日(月)・13日(火)・19日(月)・26日(月)

*休館日は、センター駐車場内の資源回収庫もお休みにになります。

*駐車場には限りがあります。できるだけ乗合い、または公共交通機関（JR・バス）をご利用ください。

*このセンターだよりはリサイクル出来ます。